

## ■ 女性研究者のためのワークショップに参加してきました。



WACSESにより開催されたワークショップの様子

2012年10月21日～24日に、アメリカのオハイオ州で「Women in agronomy, Crops, Soils and Environmental Sciences (WACSES : 農学、作物学、土壌学と環境科学における女性)」により開催された女性研究者のためのワークショップに、農業環境インベントリーセンターのレオンさんが参加され、そのときの様子をレポートしていただきました。

### ←レオンさんの報告→

今回は、昼食を取りながら、ライフサイクルアセスメント (LCA) の第一人者として国際的に活躍されているMary Ann Curran博士により、「My Career at the US Environmental Protection Agency: The Path to Sustainability」(アメリカ合衆国環境保護庁における私の経歴：持続可能性への歩み) というタイトルで講演がありました。

Mary Ann Curran博士は、1980年にシンシナティ大学 (Chemical engineering) を卒業後、US Environmental Protection Agency (EPA) で、プロジェクトオフィサーとして有害廃棄物管理研究、産業公害防止研究に携わったのち、1990年からマネジャーとしてLCAを用いた環境影響評価等をされる一方、LCAの開発と普及に力を注がれ、EPAに大きな貢献をされました。二人の娘さんを持ちながら、1996年にはスウェーデンのルンド大学で修士課程を取得し、その後2008年にロッテルダムのエラスモス大学で博士課程を取得されました。講演では、人生、研究者の先輩としてのアドバイスをいろいろ盛り込みながら話をしていただきました。中でも、積極的にいろいろな活動に参加すること、人とのつながりを大事にすること、いつも挑戦を続けることなどのご助言はとても印象に残りました。彼女の成功の裏には、物事に対する積極的な姿勢、人とのつながりを大切にすること、不断の努力があったことが強く感じられる講演でした。

## News Letter

12月  
女性研究者のための  
ワークショップに  
参加してきました号

